

4月末に調査した2010年5月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2010年5月の消費意欲は、先月から1.2ポイント増加し、
51.8点でした。

女性は回復続くも、男性は5月の最低値を更新。男女差が大きく広がった結果に。

■ 「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

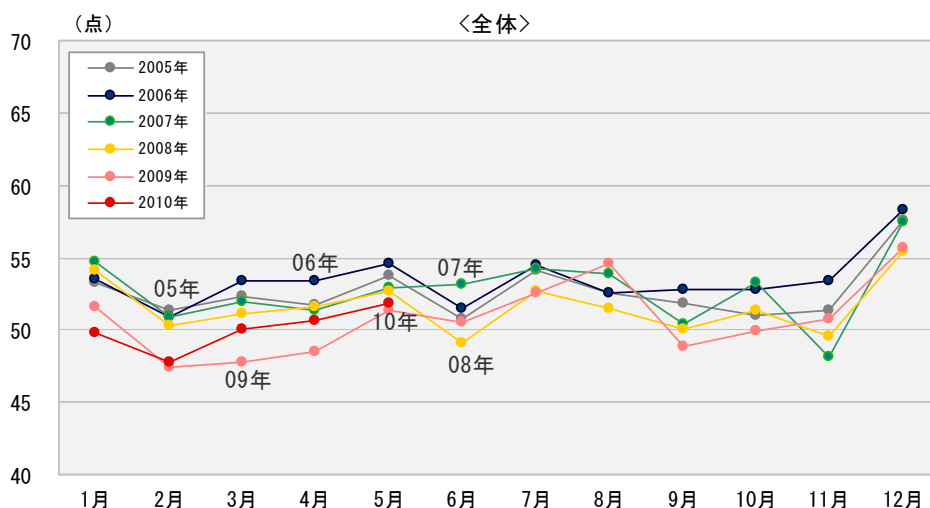
4月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者415名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2010年5月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「5月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2010年5月の消費意欲指数は先月から1.2ポイント増加し、51.8点でした。

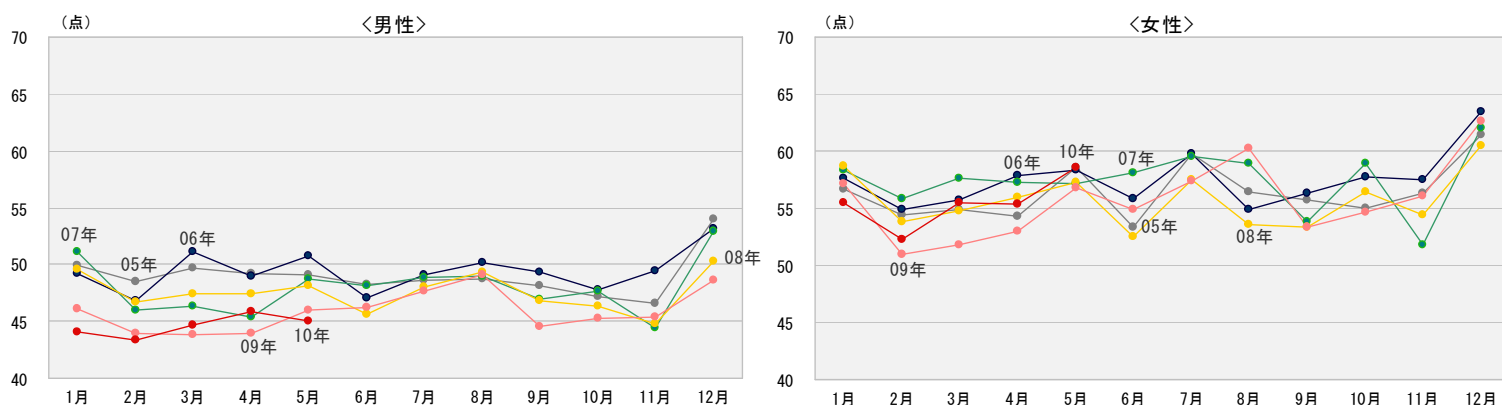
2010年5月の消費意欲指数は先月比が1.2ポイント増加、前年同月比が0.5ポイント増加の51.8点でした。先月比は3ヶ月連続、前年同月比は4ヶ月連続のプラスと回復基調が続いていますが、5月はその勢いがやや鈍化しました。その原因は男性の指数の低下です（p2・3参照）。マクロ経済や株価などの影響を受けやすい男性は、調査時期と重なったギリシャ財政危機による急激な世界同時株安に心理的な影響を受けた可能性があります、これが一時的な現象なのか来月の指数を注視したいところです。

最近発表された景気関連の指標は改善・上昇が続いています。内閣府発表の3月の景気先行指数は13ヶ月連続で上昇、伸びも最大となり、景気を持ち直しを示しています。同じく内閣府発表の3月の消費者態度指数は3ヶ月連続で改善、消費者マインドも2ヶ月連続で上方修正、4月の街角景気は現状・先行きともに5ヶ月連続で上昇です。また政府発表の4月の月例報告は景況感が改善、個人消費は持ち直しとの判断です。新聞報道によると、今年のGWIは旅行、外食、小売なども好調だったとのこと。パネルの中にも旅行や服にお金を使いたいという人が多くみられました。景気対策以外の消費にも回復の兆しがでてきているようです。



■ 女性の回復は続くが男性は前年割れに。男女差は13.6ポイントに拡大。

男女別の消費意欲指数をみると、男性が先月比0.8ポイント減少、前年同月比1.0ポイント減少の45.0点。女性は先月比3.2ポイント増加、前年同月比1.8ポイント増加の58.6点でした。男性は3ヶ月ぶりに先月比・前年同月比ともに減少し、5月としては過去最低値になりました。前述したようにギリシャの財政危機による株安が影響している可能性があります。女性は前年超えが4ヶ月連続となり順調に回復、5月の指数は2000年以来の高い数値になっています。この結果、男女差は13.6ポイントと大きく広がりました。今月のパネルの声をみても、女性の消費に前向きなコメントが増えており、勢いが目立ちます。



同時調査の生活力点の「モノ消費」項目をみると、男性では先月回復した「日常的な小さな」買い物が再びダウン、「中くらいな」はアップしましたが「大きな値の張る」買い物はダウンしました。女性は「日常的な小さな」「中くらいな」「大きな値の張る」買い物いずれもアップ、ここでも女性が元気です。また、今月はゴールデンウィークの影響もあり、男女ともに「趣味・遊び」「余暇・レジャー」の数値も高くなっています。

※博報堂生活総合研究所のWEBサイト「生活総研 ONLINE」(<http://seikatsusoken.jp/>)では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査・研究データにご自由にアクセスして頂くことが可能です。是非一度ご覧ください。

【調査概要：生活発見パートナーズ調査】

調査地域：首都圏／調査対象者：18～75才の男女個人412人／調査方法：郵送法

本件に関するお問い合わせ

博報堂広報室 西尾・山野 (03-6441-6161)

博報堂生活総合研究所 (03-6441-6450)

消費意欲指数・12ヶ月移動平均[※]（ウェイトバック数値）

全体消費意欲（ウェイトバック数値）

| 消費意欲 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 平均 |
|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1993年 | | | | | | | | | | | | | |
| 1994年 | | | | 60.3 | 60.6 | 60.7 | 60.9 | 60.9 | 60.8 | 60.9 | 61.1 | 61.5 | 60.9 |
| 1995年 | 61.7 | 61.6 | 61.5 | 61.5 | 61.4 | 61.4 | 61.2 | 61.2 | 61.1 | 60.9 | 60.9 | 60.6 | 61.3 |
| 1996年 | 60.4 | 60.4 | 60.3 | 60.3 | 60.3 | 60.3 | 60.3 | 60.2 | 60.4 | 60.3 | 60.4 | 60.7 | 60.4 |
| 1997年 | 60.6 | 60.4 | 60.6 | 60.4 | 60.0 | 59.7 | 59.7 | 59.7 | 59.5 | 59.4 | 59.2 | 58.8 | 59.8 |
| 1998年 | 58.7 | 58.4 | 57.9 | 57.9 | 58.1 | 58.0 | 57.7 | 57.6 | 57.5 | 57.5 | 57.4 | 57.4 | 57.8 |
| 1999年 | 57.3 | 57.6 | 57.9 | 57.9 | 58.0 | 58.0 | 58.2 | 58.2 | 58.2 | 58.2 | 58.2 | 58.1 | 58.0 |
| 2000年 | 58.3 | 58.3 | 58.5 | 58.7 | 58.4 | 58.1 | 57.6 | 57.2 | 56.7 | 56.4 | 56.1 | 56.0 | 57.5 |
| 2001年 | 55.6 | 55.2 | 54.7 | 54.3 | 54.2 | 54.2 | 54.2 | 54.3 | 54.3 | 54.0 | 53.6 | 53.2 | 54.3 |
| 2002年 | 53.0 | 52.8 | 52.5 | 52.3 | 52.1 | 51.9 | 51.8 | 51.7 | 51.9 | 52.3 | 52.5 | 52.5 | 52.3 |
| 2003年 | 52.5 | 52.3 | 52.4 | 52.3 | 52.2 | 52.3 | 52.2 | 52.2 | 52.0 | 51.7 | 51.7 | 51.7 | 52.1 |
| 2004年 | 51.7 | 51.9 | 51.8 | 51.8 | 51.7 | 51.8 | 52.0 | 52.0 | 52.1 | 52.3 | 52.2 | 52.3 | 52.0 |
| 2005年 | 52.4 | 52.4 | 52.6 | 52.7 | 53.0 | 52.8 | 52.8 | 52.7 | 52.8 | 52.6 | 52.6 | 52.7 | 52.7 |
| 2006年 | 52.7 | 52.6 | 52.7 | 52.9 | 52.9 | 53.0 | 53.0 | 53.0 | 53.1 | 53.2 | 53.4 | 53.4 | 53.0 |
| 2007年 | 53.5 | 53.5 | 53.4 | 53.2 | 53.1 | 53.3 | 53.2 | 53.4 | 53.2 | 53.2 | 52.8 | 52.7 | 53.2 |
| 2008年 | 52.6 | 52.6 | 52.5 | 52.5 | 52.5 | 52.2 | 52.1 | 51.9 | 51.8 | 51.7 | 51.8 | 51.6 | 52.2 |
| 2009年 | 51.4 | 51.2 | 50.9 | 50.6 | 50.5 | 50.7 | 50.6 | 50.9 | 50.8 | 50.7 | 50.8 | 50.8 | 50.8 |
| 2010年 | 50.6 | 50.7 | 50.9 | 51.0 | 51.1 | | | | | | | | 50.9 |
| 前年比 | 98.5 | 99.0 | 99.9 | 100.8 | 101.1 | | | | | | | | 99.8 |

※本数値は季節調整手法により、四季の気候や特定月に発生するイベント・出来事などの影響を除去した時系列データです。